



# 中小・中堅建設企業のための 『総合評価方式』対応 提案書作成セミナー ～技術競争時代を生き抜くために～

コンクリート工  
事/舗装工事2事  
例を検証

共催：(株)建通新聞社  
：(株)建設経営サービス

一昨年4月に公共工事品質確保促進法が施行され、価格と価格以外の要素を総合的に評価する入札方式「総合評価方式」の拡充が位置付けられました。また、昨年5月には入札契約適正化法指針が改正され、「一般競争入札」の拡大の方向も決まっています。指名競争入札がメインだった従来の入札制度は大きく転換し、今後は一般競争入札で、かつ総合評価方式による入札が、地方公共団体も含めて拡大・拡充していくことが潮流となり、中小・中堅建設業にとっては生き残りをかけた技術競争時代に突入しました。

そこで今回のセミナーでは、18年8月に開催した「総合評価方式セミナー」の実践編として、『受注者はいかに総合評価方式に対応すべきか』『具体的にどのような提案をすればよいのか』・技術提案書作成の基本と留意点に焦点を絞って、提案力アップのポイントを解説します。\*本セミナーは座学ですが、別に企業全体の技術提案力底上げを狙った企業向けのコース「施工計画書・提案書作成セミナー(演習2日間コース):2/21、3/7」(8社限定<各社3~4名>、受講料1社84,000円)も計画しております(建設経営サービス主催)。興味のある企業はお問合せください。



## セミナー内容

講師：有限責任中間法人建設情報化協議会(CIC) 吉田信雄氏<理事>、平岡成明氏<技術顧問>

午前の部(10:00~12:30)

1. 品確法：総合評価方式の正しい理解と企業戦略
2. 施工計画作成のための基礎知識
  - ・ 施工計画作成の手順とその理解

・ 技術提案書「簡易な施工計画」事例を検証!  
・ 工種別施工計画作成の2事例で検証

午後の部(13:30~16:30)

3. 技術提案書作成ケーススタディ その1  
(コンクリート工事における施工管理に配慮した提案)
  - 1) 課題の背景説明
  - 2) 提案事例の紹介
  - 3) 講師による赤ペン添削と講評
  - 4) 発注者評価の目の付けどころ
4. 施工計画作成ケーススタディ その2  
(舗装工事に関する施工計画書)
  - 1) 課題の背景説明
  - 2) 施工計画作成事例の紹介
  - 3) 講師による赤ペン添削と講評
  - 4) 発注者評価の目の付けどころ
5. 発注者の工事成績評価・施工プロセス検査の実際

場 所 浜離宮建設プラザ10階  
中央区築地5-5-12 新橋駅徒歩10分

対象者 経営幹部(技術)、工事管理部門責任者、現場技術者等

日 時 平成19年2月6日(火) 10:00~16:30 (受付開始9:30)  
受 講 料 8,000円(税込) \*昼食休憩12:30~13:30  
募 集 定 員 100名 申し訳ありませんが、昼食はお弁当等ご準備願います

裏面は「セミナー参加申込書」となっております。必要事項をご記入の上、弊社までファクシミリでお申し込みください。